

広島市植物公園 見どころ案内

オオバショウマ(キンポウゲ科)、オオマルバノテンニンソウ(シソ科)、クロバナヒキオコシ(シソ科)

マツムラソウ (イワタバコ科)
石垣・西表島原産の多年草。水しぶきがかかるような環境を好みます。黄色い花を咲かせています。絶滅危惧種。

アリストロキア・ギガンテア
(ウマノスズクサ科)
パナマ原産。茶褐色の珍奇な花形がよく目立ちます。花の裏には緑色の袋があり、昆虫が入り込むと、なかなか出られなくなり受粉を促すしくみになっています。

ハンキングバスケット
カスケード壁面に3つの巨大ハンキングバスケットがあり、セロシヤ、ユーフォルビア、カラーリーフなどを使い秋バージョンに仕上げました。
[日本ハンキングバスケット協会 ハンキングバスケットマスター作]

スィフヨウ (アオイ科)
アオイ科の低木。白花が咲き進んでピンク色に変わります。その様がまるで酔っているようなので、この名前になりました。

サミダレハギ (マメ科)
野生のハギの中では最も花が大きく、花は主に秋に咲きますが、早いものは5月ぐらいから咲き始めるので五月雨萩と呼ばれます。

カリガネソウ (シソ科)
日本各地に自生する多年草。虫が花に留まると、虫の背中に花粉をつけ、次の花へ受粉するおもしろい仕組みになっています。別名ホカケソウ。

ミヤマガマズミ
(レンブクソウ科)
日本各地に分布する落葉低木。6月に白い小さな花をつけ、今、光沢のある赤い果実を多数つけています。

フジバカマ (キク科)
日本、朝鮮、中国が原産。秋の七草のひとつです。運がよければ 渡りをするチョウとして知られるアサギマダラの訪花が見られるかもしれません。

シラハギ (マメ科)
秋の七草の一つです。白色の花が咲いています。

シモバシラ (シソ科)
茎は枯れても根は長期間活動するので、枯れた茎にシモバシラが出来ることで知られる。

ノアサガオのカーテン
(ヒルガオ科)
品種はオーシャンブルー、ラッキーブルー。紫色の花が咲いています。ツルは屋上まで伸び、大きなカーテンを作っています。

